



施設長トーク 津久井やまゆり園殺傷事件から一年を経て・・・

相模原市の知的障がい者施設「津久井やまゆり園」で19人が殺害され、26人が重軽傷を負った事件は、7月26日で発生から1年が過ぎた。施設に設置された献花台に多くの関係者や市民が訪れたことが報道されていた。この事件は、障がい者と関係者の心に深い傷を残し今も気持ちの整理がつけられないままの方が多い。20代である事件の被告は、「障がい者は、不幸をつくる」といった発言をしたがその発言は、多くの人々が反発をしている。もちろん障がい児者を育てる親の反発も大きく、「おもしろかったり、癒やされたり、日々の小さな幸せを積み上げて生きてきた」といった思いが伝えられている。一方で事件の背景として職員の過酷な労働条件を挙げる親もいる。「賃金が低く重労働。人間相手なので神経も使うし、障がい特性を理解しなければいけない大変さもある」として給与や勤務時間などの待遇改善が必要との声も聞かれる。

この事件を受け国は、再発防止策として精神保健福祉法の改正案を打ち出したが、行政などによる精神障がい者への関与を強化する仕組みを柱としており、当事者から「共生社会に逆行する監視強化」だと猛反発が聞かれるところである。このような中で、給料の搾取や暴力行為、わいせつ行為などの虐待を受けた障がい者がいることを忘れてはならない。因みに虐待を受けた障がい者の内、知的障がい者が53%、精神障がい者が24%、身体障がい者が21%と厚生労働省が2016年度のまとめで発表している。福祉の手は、どこまで家族に届いているのだろうか。情けなさとしきりに怒りを覚える。私たちの目の前に同様のことが起きるのかもしれないと思うと、今やっている私たちの仕事の意味をしっかりと噛みしめ、誇りを持って仕事に励みたい。

多機能型障がい福祉サービス事業所「えーる油山」管理者 小関 正利



～サビ管より ひとつこと ～

19日(金)の夜8時から堤小学校を発着とした城南区パトロールがあり、職員も参加しました。夏休みに入り、夜間の防犯目的で毎年行なわれています。堤地区の中を5コースに分かれてパトロールしました。えーる油山の職員は東油山コースを約15名のグループで移動しました。青パトと一緒に参加しながら、行きかう地域の方へ防犯の声掛けをして回りました。みんなで意識して地域の安全を守っていただくと願うところです。(サービス管理責任者 佐々木 篤)

なかまCHANNEL

最近、えーる油山の仲間たちは近所の公園へ歩道のごみを拾いながら歩いて行っています。道行く方々やガソリンスタンドの店員さん、警備員さんなど地域の方とあいさつしながら仲良く汗をかいています。先日は公園で声をかけていただき、グランドゴルフをじっくり見ることもできました。これからも、えーる油山の仲間たちが堤地区の仲間になれるような活動をしていきたいと思っています。(支援員 並木)



* 支援部だより *

今年の畑では、さつまいもを始め、なす、ピーマン、トマト、ミニトマト、ズッキーニ、とうもろこし、ゴーヤ、キャベツを植えています。先日は、えーる油山の軒先でさつまいものつるを販売してみました。通りかかる地域の方とお話をしていると、「昨年はいもが入ってなかったけど、今年はどうかしらね〜^^」と気にかけてくださっていたり、「いつも楽しみに見てますよ」とお話ししてくださったりしています。地域の方とさつまいもパーティーを開けるくらいに収穫できるといいなあと思っています!!(支援部 岡村)

◇8月の予定

- | | |
|-----------------|----------------------|
| 3日 ハローデイ春日店バザー | 17日 ハローデイ周船寺店バザー |
| 5日 福祉の仕事就職フェア | 19日 堤夏祭り |
| 8日 ハローデイ橋本店バザー | 24日 ボンラパス薬院店バザー |
| 10日 ハローデイ姪浜店バザー | 26～27日 きょうされん職員学習交流会 |
| 11～15日 夏季休暇 | |

